



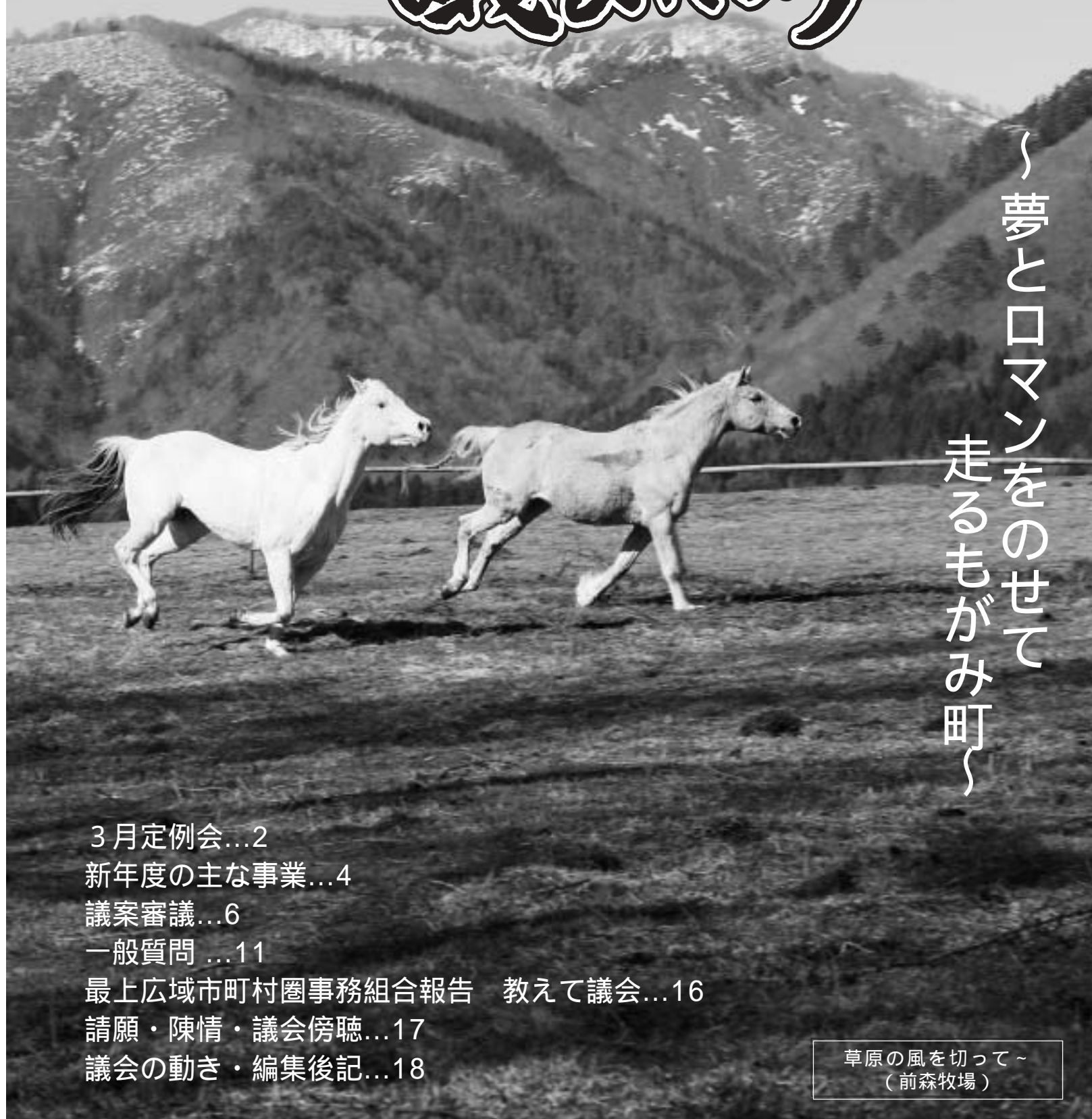
あなたと結ぶ 議会情報誌

3月
定例議会

平成28年5月10日 発行

No. 152

最上町 議会だより



〜夢とロマンをのせて
走るもがみ町〜

- 3月定例会...2
- 新年度の主な事業...4
- 議案審議...6
- 一般質問 ...11
- 最上広域市町村圏事務組合報告 教えて議会...16
- 請願・陳情・議会傍聴...17
- 議会の動き・編集後記...18

草原の風を切って〜
(前森牧場)



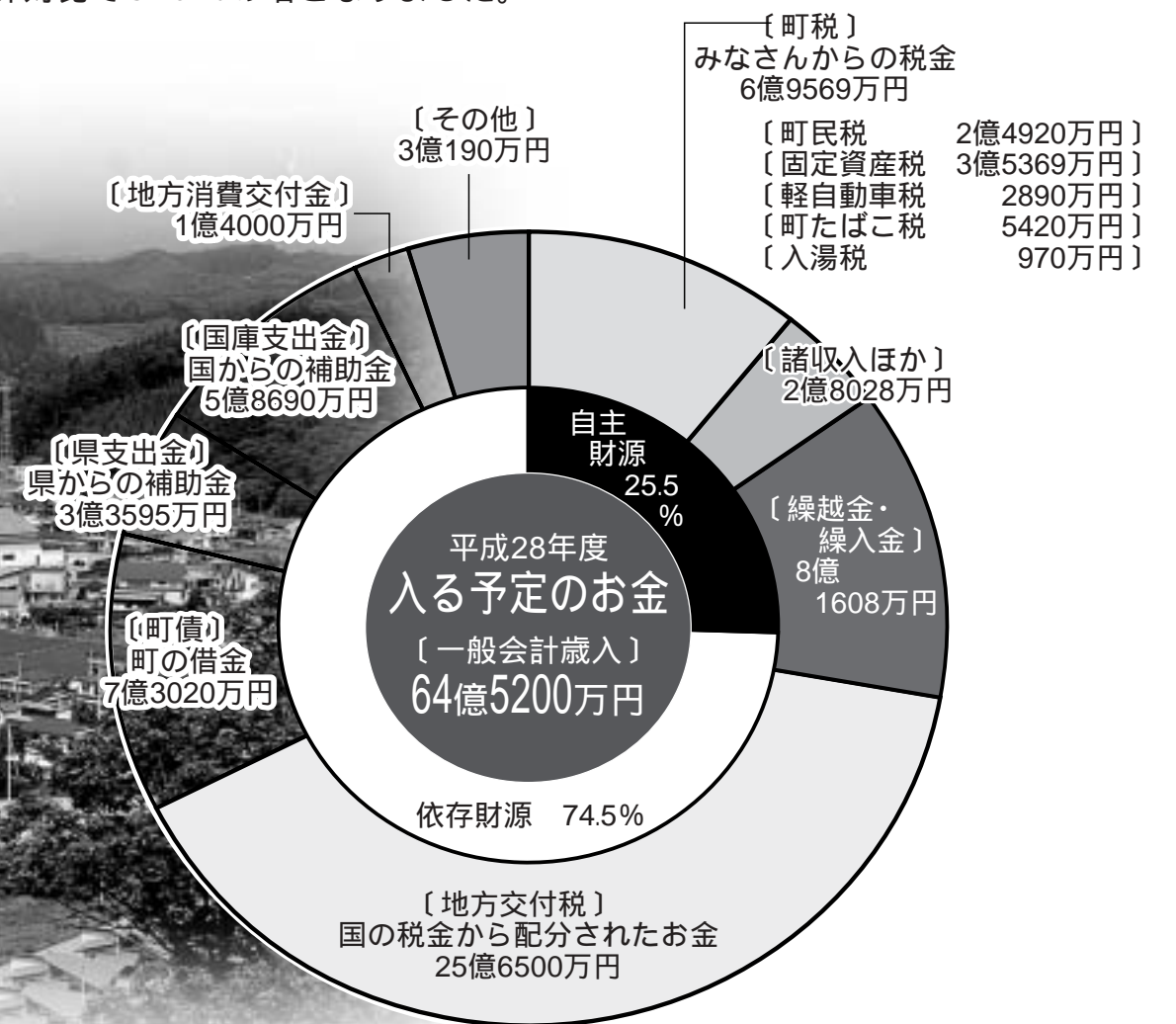
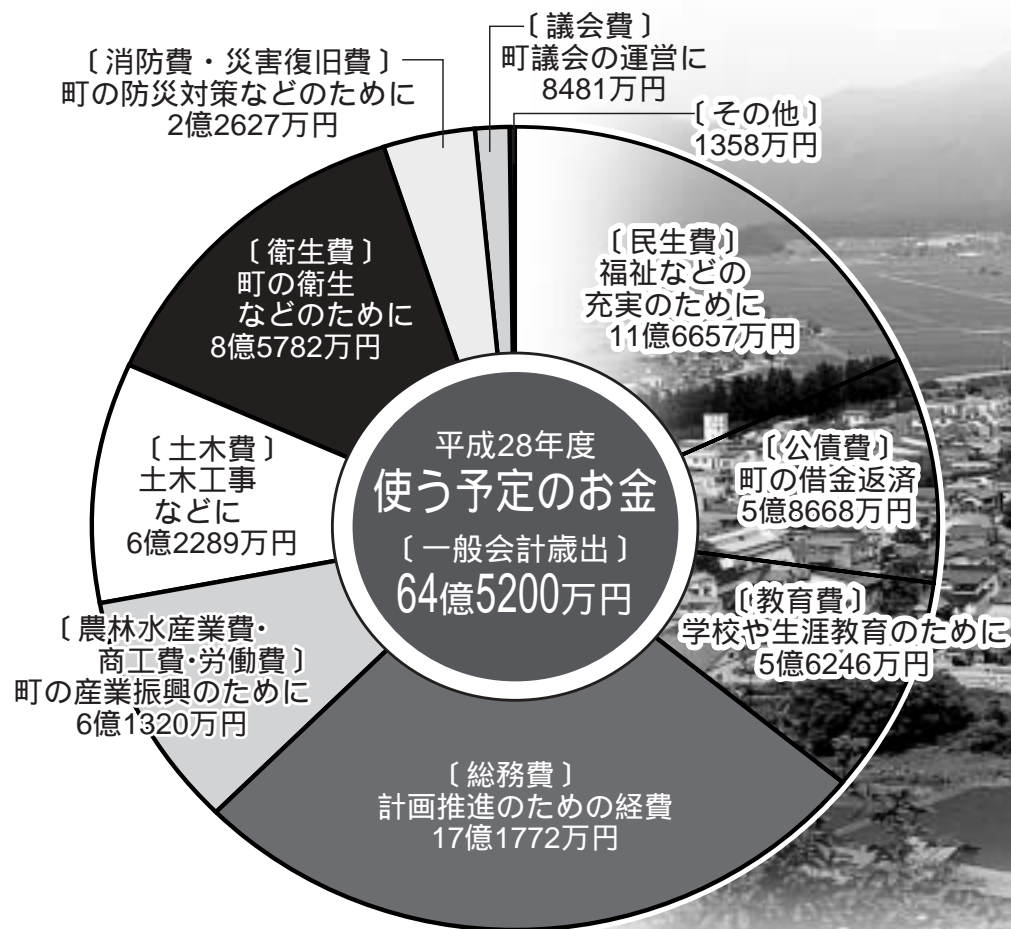
過去最大級 予算!! 使い道は!

総額 114億3643万円

一般会計 64億5200万円

特別会計 49億8443万円

平成28年3月定例会を、3月7日から16日までの会期で開きました。今回は、平成28年度予算を中心に、条例の制定や改正、補正予算など提出された45の議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。このうち町の仕事の大部分を占める平成28年度一般会計予算は、64億5200万円となり、前年度当初予算対比で9.6%の増となりました。予算の執行にあたっては、最小の経費で最大の効果が得られるよう多くの意見を提案しました。



国民健康保険事業	12億7000万円	簡易水道事業	1億9409万円
後期高齢者医療事業	1億円	瀬見温泉管理事業	1009万円
介護保険事業	12億1000万円	農業集落排水事業	2013万円
最上病院事業	13億7574万円	下水道事業	1億9011万円
介護老人保健施設事業	3億4758万円	浄化槽事業	1億1803万円
水道事業	1億4866万円		

新年度主な事業

7 森林・林業再生基盤づくり交付金事業 7747万円

木質バイオマス利用促進施設の整備事業。また、特用林産物生産施設等の整備として菌床シイタケの菌床ブロックの生産に支援します。



8 農地多面的機能支払交付金事業 6464万円

農地や農道、水路などの施設を保全管理していく組織に対し、5年間にわたり活動を支援するものです。最上町では、31組織が活動しています。



9 瀬見温泉共同浴場周辺整備事業 4264万円

既存の共同浴場を解体し、新しく出来る共同浴場の利用促進を図るため駐車場整備に取り組みます。



10 旧満沢小学校改修工事事業 1310万円

地域の活性化、6次産業化の拠点として施設の整備、備品の購入を行います。

11 圧雪車購入事業 3800万円



赤倉温泉スキー場のゲレンデ整備のために購入します。

12 除雪車購入事業 4708万円



冬期間の安全で快適な道路環境を確保するために購入します。

1 子育て支援 4億2800万円

3歳児以上の保育料無料化や中学校3年生までの医療費の全額助成など様々な子育て支援を行い「子育て・子育て日本一の郷づくり」を目指します。



2 若者定住環境モデルタウン整備事業 2億5433万円



再生可能エネルギーを活用し、雪国における若者の移住定住を促進するための先進的な住環境の創出を目指しています。

3 若者定住促進住宅取得支援補助 3200万円

移住世帯・若者世帯が住宅取得の際に支援します。



4 法田下鶴杉線流雪溝整備事業 700万円

冬期間の克雪対策として、流雪溝を整備することで道路幅員を確保し、冬期交通の安全を図ります。

5 富沢線道路消雪整備事業 4470万円

冬期間の克雪対策として、流雪溝を整備することで道路幅員を確保し、冬期交通の安全を図ります。



6 LED防犯灯導入推進事業 300万円

防犯灯の蛍光管をLEDへ交換促進するため町が設備リースを行います。

「調和と結集」

に難問・課題も!!



議案審議

平成28年3月議会

町の明日のために

主な質疑の中から抜粋

■個人情報・保護条例の改正について

Q 審査会の内容はどうか
A 審査会の内容はどうか伺います。
A 内容としては、町側から5名、専門知識を持った者が2名で、審査会の組織はまだです。

Q 行政不服審査なので町長が指名する方法はいいか
A 公平な審査になるように上位法に従って進めて参ります。

■介護保険条例の改正について

Q 介護認定申請書にマイナンバー（個人番号）がなぜ必要か
A 国の法律の施行に

伴って、申請書には「住所及び個人番号」と個人を識別する為に、顔写真入りの個人番号カード一枚を提示すれば、改めて免許証を提示しなくてもよくなります。

■指定地域密着型サービス条例の改正について

Q 民間事業者に経営での影響はないのか
A 地域密着型以外の通所サービス事業者もあり、認知症の度合いや経済的なことを加味して相談してもらいたい。現在、定員が一杯で入れないということはありません。

■浄化槽整備事業条例の改正について

Q 合併浄化槽も含め水洗化率の今後の進捗率は

A 1千戸が未整備となっており56.5%で、県内下から3番目に低い水洗化率であり、10人槽も含め啓発に力を入れていきたい。

■土地開発基金条例の廃止について

Q 今後、分譲地の土地問題や新たに土地を求めるときには大丈夫なのか。また、残金はいくらか。

A これまで政策的な目的により、土地の先行取得にむけた財源とするために基金を創設し活用してきましたが、今後は大規模な開発行為が見込まれないことから、廃止するものです。残金は5千116万486円です。

Q 一般会計への繰入の仕方と時期及び補正予算等の考え方について伺います。

■給食物資購入基金条例の廃止について

Q この給食物資購入基金の残額は、現在どの位あるのか。
A 現在200万円あります。財政調整基金に積み立てています。



設置増が求められる浄化槽整備

■最上町過疎地域自立促進計画の策定について

Q 10年後の見通しについて、現在の時点での優先順位の考えはどうか。
A 急速に高齢化が進む中、第4次総合計画に基づいて過疎計画と連動して町民の幸福のため、選択と集中重視した計画になりました。



せんしん館(赤倉地区)

Q 病院の医師の確保等も計画していく必要があると思うがどうか。
A 医師の確保も重要でありますが、今後5年間で15名の看護師の退職も予定されており、看護師不足にならないように努力して参ります。

■赤倉辺地に係る総合整備計画の策定について

Q 指定を受けることが出来る辺地の定義は
A 面積や人口に応じて決まります。町内では10箇所が該当します。

Q 圧雪車を購入した場合、古いものは？
A 全国中学校スキー大会の際には古い車両も入れた3台で対応し、大会終了後は2台で対応していきます。

平成28年度 一般会計予算質疑

「調和と結集！元気な地域の創成と未来につなぐ人づくり」を基本姿勢に、平成28年度一般会計予算額は、64億5千200万円と、近年にない大型予算に白熱した審議がなされました。どの質疑も、町民に直結する問題であります。行政運営に当たり、町民と行政との協働のあり方、地域に根差した産業の育成など、どれもすぐに進めて行かなければならない重要課題であります。5年後、10年後のこの町のあるべき姿を見据えた中で、次の時代を担う若者たちにつないでいかなければなりません。総括質疑を合わせ2024回の質疑がされました。審議の結果12案件いずれも委員全員の賛成をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
(予算特別委員長 大沼 正視)

歳入

Q 前年対比9.6%増の64億5千200万円の一般会計予算であり、前年並みの補正を見込めば70億円を超える大型予算になるが今年度の見通しは、財政調整基金の額に不安はないのか。
A 精査しましたので、大型補正は出ないと考えております。基金に対して7億円に積増しますが、基金に頼らない行政運営を執行して参ります。

Q これから公共施設の維持管理に大きなウエイ

トを占めていくものと考えます。100を超える施設を維持管理していくには、基金を設けて進めていく方法があると思います。どのように考えているのか。
A 調査・検討して参ります。

Q 予算を見ると義務的経費が全体の6割近くになっており、このまま行くと財政危機に陥るのではないのか？
A 公共施設等の大規模改修等の維持管理費が増えてきています。行財政改革プランに基づき、適

歳出

正な財政規模となるよう努力して参ります。

総務費

Q せんしん館を指定管理されている民間企業があと一年で撤退されるそうですが今後の対応は？
A 平成28年度から、指定管理方式から町直営方式に切り替え、光熱水費や機器類の委託費が計上され支出増となります。今後は施設の老朽化に配慮し平成28年度中に方向性を見出して参ります。

Q ふるさと納税支援業務委託料をどこに委託されているのか。また、どのようにして進められるのか。

A 町直営から産業振興の担い手である、もがみ物産協会への委託を柱にし、民間企業との連携共同を「ふるさと納税コンソーシアム」という体制構築のもと開発も含め努力します。

Q 若者定住モデルタウンの入居条件が示され、条件から外れた場合に若者定住の意義が失われな

A 少子高齢化社会に対応すべく若者を支援し、これまで進めて来た「環境配慮型社会」を目指します。

民生費

Q 寝たきり老人介護激励金の状況について伺います。

A 平成26年まで年2万円、平成27年には年4万円、平成28年には年6万円と、在宅での介護を町としても積極的に支援しております。また、今年度は45人を見込んでおります。



健康で元気に生活するために

Q 保育料の無料化になって児童数の推移は。未満児が44名で11名の増になっています。

衛生費

Q 健康かるてシステムマイナンバー情報追加作業委託料で、なぜ追加作業が必要になったのか？

A 予防接種検診等のシステムで一元管理をしていますが、乳幼児の転出等では、マイナンバーの情報が必要となることから追加作業が必要となりました。

Q リサイクルプラザもがみ分担金の算出方法は？

A 処理量割、人口割の2タイプの計算方式から分担金が決まっています。

農林費

Q 森林・林業再生基盤

ていくものです。

土木費

Q 生活道路整備事業の現在の状況を伺います。

A 平成28年度は6件を予定しております。現在10件の要望があり、現地調査をしながら次年度以降に要望順に整備して参ります。

Q 愛宕山駅前線道路改良の具体的な場所と内容は？

A 役場南側の道幅が狭くなっている区間の視距改良のために道路の拡幅工事を行う予定です。

消防費

Q 広域消防負担金が増えている理由は何か？

A 人件費増と西支署の改築、高性能救急車購入等の事業を予定しております。

づくり交付金の内容は？

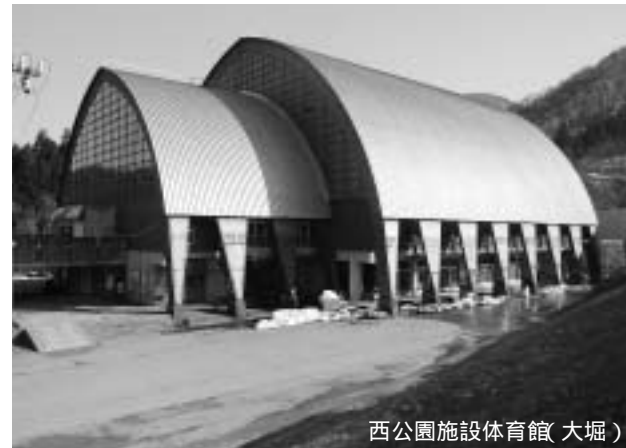
A この事業は、シイタケ生産農家3名が法人を設立し、年間10万個の菌床を製造する計画です。この事業により高品質化を図り所得の向上を目指すものです。

Q 草地更新事業は、後何年くらい続きますか？

A 今後4年間を目的に完了し、その後放牧地へと面積を拡大していきたいと考えております。その為に、オペレータの確保と県の協力のもとにより早く完了を目指して参りたいと考えております。

Q 多面的機能支払い交付金について伺います。

A 長寿命化対策については、7つの組織が新たに取組む予定です。農地維持支払い事業の遊休



西公園施設体育館(大堀)

農地防止活動については、その維持に苦慮している事から、個別的対応に各組織との調整を図って参ります。

商工費

Q 西公園維持修繕費と衛生施設設計の内容は？

A 施設維持修繕費に関しては、体育館の水道の部分、衛生施設設計に関しては、多目的広場のトイレの整備になります。



大堀保育所 入所式

教育費

Q 少子化の小学校教育環境の動向についての考えは？

A 町外では、小中一貫校の動きもあります。町内では4つの複式小学校をどうするかは課題で、10年先、20年先を見据えた協議・検討をしていきます。

Q 学力向上についての考えは？

A 県と比べると小学校は国語が上位のレベル、

総括

Q 今定例会の中で、町執行部の説明不足が多すぎたのでは？

A 執行部側からの説明不足は否めません。今後、重要施策や事業等の事前説明を十分に行い、よりよい審議のための一助となるよう心掛けます。

Q 旧瀬見温泉共同浴場を解体するのに委託料がかかるのか？

A 町内の生産者が利用できる食品加工施設に改修しながら地域の活性化、6次産業化の拠点として進めていきます。



完成間近の瀬見共同浴場

Q 企業に貸している町有地の借地料の見直しが必要では？

A 町内では3カ所を貸しています。雇用の支援も含め、来年度中に検討していきます。

A 駐車場の舗装工事に伴う設計分となります。春のオープンに向けています。駐車場の整備は、8月末頃を目途に取り組んでいきます。

Q ふれあい陶芸出前講座の内容は？

A 吉田先生による陶芸教室を町内のサロン活動や学校に向き、福祉や文化創造を目的に活動し



町政を問う

5 議員が一般質問

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なことを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。

職員の人材育成と職場環境づくりについて

町長答弁 「経営感覚を持ち自ら学び考え行動する職員」を目標に人事評価などの人材育成プログラムに取り組む



宮本 浩 議員

問 第2次人材育成基本方針を元に、職員力の向上に取り組まれるということですが、素晴らしい内容の研修プログラムも「何のために?」「なぜこれが必要なのか?」と職員が研修の意味を理解しないままでは意味のないものになってしまうのではないかと心配です。

答弁 立派な育成プログラムを作っても職員自らが自己のスキルアップや課題意識のないまま研修等に参加していたのでは、その結果は半減します。

問 理想とする職員像の中で、「経営感覚を持つ」と言うことですが職場の整理整頓を今以上に行うことで、書類や資料を探す時間の無駄や場所の無駄、必要のないものを購入してしまうお金の無駄を減らすことにつながるのではないかと心配です。

答弁 このことは、日々の業務に臨む基本的な姿勢と同じです。「今、行っている仕事の最終目的と目標は何か?」という根本的な意識がなければいけないと思います。こうした気づきをすべての職員にもってもらうために、昨年度には全職員を対象にした「職員意識調査」を行い研修計画を策定しました。

問 働きやすい職場環境について、職員同士の交流する場の創出についての考え、また職場に音楽を流すことにより、集中力の向上やリラクゼーション効果、仕事の生産性も上がるということも分かっています。音楽を効果的に取り入れた職場づくりについての見解は?

答弁 働きやすい職場環境については、集中力の向上やリラクゼーション効果、仕事の生産性も上がるということも分かっています。音楽を効果的に取り入れた職場づくりについての見解は?



来庁者に対応する町職員

問 デスクワーク、資料整理など整理整頓が大事だということ意識し、チェックしていきます。

答弁 働きやすい職場環境については、集中力の向上やリラクゼーション効果、仕事の生産性も上がるということも分かっています。音楽を効果的に取り入れた職場づくりについての見解は?

特別会計予算

最上病院事業費

Q 県立新庄病院との連携についての考えは。

A 現在カルテ情報の片方向の連携であります。今後は相互方向の連携を目指しております。また、急患の搬送、患者紹介、逆紹介、ガン患者のクリニカルパスなどで連携して参ります。

Q 今後の病院経営について町長の考えは。

A 病院の役割を再度確認し、人事体制の見直し、職員・病院のスタッフ一丸となって取り組んで参ります。信頼なくして健康と町づくりは出来ないものと考えております。

平成27年度一般会計補正予算

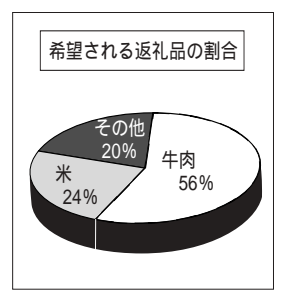
総務費

Q ふるさと納税返礼品及び内訳等は。

A 平成27年度寄付予想額は3億2千500万円、その内、返礼品1億8千万円、送料費3千700万円、最上物産協会手数料1千500万円となっております。残金は9千300万円、全体の30%が町で利用できる金額です。

衛生費

Q ウエルネスプラザ運営費の中で、施設燃料が計上されていますが、木



Q 質バイオマスの熱供給で施設全体を賄っているのではないのか。

A プラザ内でいきいきハウスや、民間施設の紅梅荘を除くと重油等を併用しながら熱を得ている状況にあります。そのために各施設の経費に燃料代が表れてくるものです。

教育費

Q 町直営の学童保育はアルカディアもがみに委託するが、どう変わるのか?

A 今までの指導員には継続してもらい、人間的に余裕も出てくると思いますので、長期休暇期間の対応をしていきます。

Q 富沢小学校の屋内運動場監理委託料とは?

A 工事に入るにあたり子供達の安全対策、調整ということで専門家に監理をお願いするものです。

介護保健事業

Q 居宅介護サービス給付費の減額内容、介護度数の一番多い順は。

A 介護報酬の改定によりサービス単価が減額、見込みより加算が少なかったためです。また要介護1が71%、2が89%、3が49%となっております。

Q 特定入居者介護サービス費300万円の内容は。

A 施設利用等の低所得者の食事負担等の減免分が増えたためです。

簡易水道事業

Q 堺田水源の現状と今後は?

A 今試験ボーリングの結果、毎分200ℓの水が出る事が分かりました。今後、水質等の検査をして参ります。



ふるさと塾設立旧満沢小

3月28日 臨時議会

地方創生加速化交付金2千万円補正

Q 里山再生ふるさと事業の内訳は。

A 1億総活躍社会に向けた100%国からの交付金です。満沢小の2階を改装し、講師を招聘してふるさと塾を設立する。また、情報発信映像を製作し活性化を目的とします。

農政新時代の転換期にどう立ち向かうのか



佐澤 浩 議員

町長答弁 特色ある本町農業の発展を目指していく

問 日本の農業を一律に論ずるつもりはありませんが、国・県に依存すべきことは依存し、町独自の「攻めの農業」を打ち出し「強い農業」と、「安定経営」の確立を目指さなければなりません。そこで、①生き抜く力を養う担い手支援、②イノベーションの確立と支援、③農地中間管理機構への支援、④新規就農者「田園回帰」の確保と支援、⑤農業生産法人と人材派遣業の設立と支援、⑥高品質のブランド農産物への支援、⑦畜

産・酪農の収益力強化支援などであります。目指すは、脱・上意下達で、ナンバーワン農業から、オンリーワン農業へ。首長の考えを伺います。

答弁 国や県の「攻めの農林水産業政策」やTPP対策としての「農政新時代」の政策に沿いつつ、町としてその政策を具現化し、かつ、その上を行く町独自の攻めの農業政策を打ち出し、農業所得の向上と関連産業の発展を目指して参ります。具体的には、ご指摘の通り、農業の担い手の発掘と育成支援、新規就農者の確保と支援、農地集積や集落営農といった農業の組織化による新たなイノベーションの構築、園芸作物の更なる生産力のパワーアップ、畜



放牧牛（前森高原）

産経営基盤の強化といったことを継続・強化し進めて参ります。地域や農業組織で今後の農業を考え、進めていくといった基本的な考えへの転換が、本町の農政新時代という転換期の始まりと考えております。本町の課題と課題解決の方策を町民や農業者の方々が共通のものとして認識し、いま行っている様々な施策や事業がどの位置にあるかを確認しながら事業展開を図り、オンリーワンの特色ある本町農業の発展を目指して参ります。

特に流雪溝整備は実施すべき重要事業！

町長答弁 専門知識と技術を持った職員育成と確保が急務



橋本 正 議員

問 平成27年度9月定例議会での一般質問で、流雪溝の一日も早い実現に向けて進めるべきではとの問いに「流雪溝検討委員会を立ち上げて集落と話し合ってきた」と答弁を頂きました。その後の進捗状況は。

答弁 安全で安心して快適に暮らし住み続ける上で、豪雪対策は本町の重要な課題の一つです。本町のような豪雪地帯で少子高齢化による人口減少社会に対応した雪対策では、流雪溝の役

割は非常に大きく大変有意義なものであります。大きな課題は流雪溝の用水の確保であり、用水の量や利用の仕方が農業用水であつたり様々であります。水利権の問題などもありますが、なお一層計画的な整備を目指して国・県に強く要望して参ります。



回一タリ一車での除雪作業

問 流雪溝の整備、促進に向けて、測量・建築等の多くの専門技術作業が予想されます。平成28年度の基本姿勢で「未来につなぐ人づくり」を大きく掲げております。この点からも職員の専門性を育てていくという事が必要と考えます。専門技術を持った職員の

育成についてお伺い致します。

答弁 各種の事業において適切な執行・行政サービスの品質確保を維持して行くには、専門知識と技術を持った職員の育成と確保が急務であります。なかでも重要施策である流雪溝整備を始め、社会資本の総合

的な維持管理を考えますと専門技術職員の育成・確保が喫緊の課題であります。

まずは「人材確保」ですが、平成28年度の職員募集におきましては、土木の専門課程を修得した者や、2級建築士以上の資格を有する者を採用枠に設定する考えでいるところです。

地方分権社会が進展するなか、法令執務に携わる専門性が求められるほか、病院看護師、検査技師、保育士等のスキルアップが不可欠であります。より良い行政サービスを展開していくために、「専門家集団」としての組織機能の充実・強化に努めて参ります。

【請願・陳情】

請 願	請 願 者	紹 介 議 員	所 管 委 員 会	結 果
奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める請願	一般社団法人 山形県労働者福祉協議会 理事長 岡田 新一	佐澤 浩	総務文教常任委員会	採 択
町道立小路「佐平橋」の修繕及び拡幅工事の早期着工に関する請願	最上町大字富沢 立小路自治会長 小野 良一 (外5名)	橋本 正 石原 英一	産業厚生常任委員会	採 択

昨年の12月定例会に於いて、TPP交渉大筋合意を撤回し調印批准しないことを求める請願が提出され、継続審査としておりましたが、今年2月4日に日本政府はTPP協定文に署名いたしました。よってこの請願の効力が失われましたので不採択といたします。(詳しい請願内容は12月議会広報P11に掲載してあります)

【意見書提出】

意 見 書	提 出 先	提 案 理 由
奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める意見書の提出について	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣	大学の授業料が有償で、公的な給付型奨学金制度がないのは日本だけです。若者を社会全体で応援し、急速に進む少子高齢化や地方の衰退に歯止めを求めるものです

【最上広域市町村圏事務組合】

平成28年度予算 32億4600万円
最上町分担金 3億2013万6千円

平成28年主要事業の概要

- 看護師養成機関開設準備事業【事業費】3,897千円
・養成機関の設置、運営手法の調査研究
 - エコプラザもがみ循環型社会形成推進地域変更計画、長寿命化変更策定業務委託事業【事業費】2,649千円
 - エコプラザもがみ2号炉(空気予熱器・加熱器)更新工事事業【事業費】207,576千円
・劣化した設備を更新し、施設の長期的かつ安定的な維持管理を図る
 - リサイクルプラザもがみ最終処分場盛土堤等工事事業【事業費】24,840千円
・埋め立て量に合わせて高さ3m毎に堰堤を築く土盛工事
 - 消防署西支署庁舎建設工事事業【事業費】173,381千円
・消防署西支署の庁舎移転新築工事を実施
 - 旧教育研究センター解体工事事業【事業費】46,893千円
・当教育研究センターの老朽化により、今後の利活用が困難なため解体を実施
 - 教育研究センター算数、数学スーパーバイザー配置事業【事業費】11,954千円
・算数・数学のスーパーバイザー(指導主幹)を配置し、最上地区小中学校の学力向上を目指す
- 最上広域ふるさと市町村圏事務組合特別会計【事業費】10,997千円
- 少年少女沖縄派遣交流事業
 - もがみ大産業まつり
 - 少年少女沖縄交流受入事業
 - 最上8市町村全校沖縄給食デー

議会を傍聴して

◆十日町 沓澤周悦さん
「議員の皆さんがどのような質問をするのか」、一方「町長がどのような答弁をされるのか」、初めて傍聴する私達は、興味津々でした。実際に傍聴していると、お互いの緊張感がひしひしと伝わってきました。

我が最上町にも、まだまだ多くの課題があることが分かりました。それ



十日町サロンのみなさん

らが一一つ解決されていくのが楽しみだという声がかかるこのたびの議会傍聴でした。今年度も傍聴を予定しています。(28年度も29年3月に予定してあります)



傍聴後大堀鍋まつり売上金を寄附してくれました。(大堀小学童のみなさん)

◆笹森 石山春雄さん
人口減少に至る過疎地進行の現実、自主財源不足で編成する予算の執行、将来に負担を残すという

危機管理意識を持って、議会も行政も、さらに努力してほしいと思います。3月定例会議、開会から閉会までの10日間の日程すべてを現場で傍聴させて頂いた私の率直な感想です。私は、今のこの町の実情に鑑み、議員先生方の勤勉さも認め、なお一層のより良い町づくりに精進して頂くことを強く熱望しています。



教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説!!

■ 全員協議会ってなに？

全員協議会は、議長が招集し、緊急を要する案件を協議するためや定例会を前に執行機関から提出予定の議案についての事前説明、本議会中は議員相互の意見を調整したり、特別委員会等の設置が行われます。その場で審議や議決は行いません。



全員協議会



議 会 の 動 き



町消防出初め式 (H28.1.10)



宮城県美里町議会議員との交流会 (H28.1.26)



モデル住宅視察

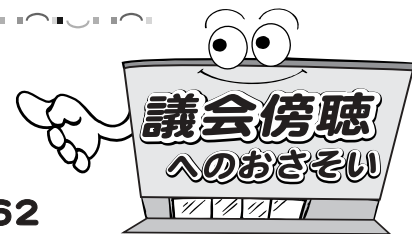
【月毎の主な日程】 1月～3月の活動日数 51日
誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

〔1月〕	
8日	最上町新春賀詞交換会
10日	町消防団出初め式
14日	1月臨時会 全員協議会
18日	議会広報編集委員会
19日	町村議会新議員研修会(自治会館)
22日	最上広域と沖縄中部広域の交流事業(～24日)
26日	宮城県美里町議会議員との交流会
27日	最上町小学校スキー大会
28日	町観光協会「新春研修会」
〔2月〕	
3日	農委・JA・議会三者懇談会事前打ち合わせ
4日	議会運営委員会(29日) 全員協議会(25日、29日)
5日	町農業振興協議会総会
14日	町認定農業者の会「農政懇談会」
17日	東法田小経営懇談会
18日	赤倉温泉町内会との懇談会
20日	岩手県大船渡市(旧三陸町)記念植樹
23日	広域議会議員懇談会(広域予算内示会)
23日	議会議員・JA理事・農業委員会委員三者懇談会
25日	2月臨時議会 予算内示会
〔3月〕	
2日	最上町スクールバス通学検討委員会
3日	新北最上校卒業式
4日	議会運営委員会(28日) 全員協議会(7日、14日、28日)
7日	3月定例会(～16日) 広域議会運営委員会
9日	こども研究会研究発表
16日	最上中卒業式
18日	町内小学校卒業式 浄化槽法定検査委員会ワキンググループ作業部会
19日	最上町土地改良区総代会
23日	議会広報編集委員会(28日、31日)
25日	町内こども園・保育所・幼稚園卒園式
28日	3月臨時議会

次回の定例会は6月です

インターネット配信中(町ホームページから)

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362



編集後記

国の平成28年度の予算は、96兆7千218億円と最大の予算規模で日本丸は動き出しました。今回の予算成立を受けて安倍晋三首相の肝いりで教育支援に向けて返済不要の給付型奨学金制度、また、無利子の奨学金制度も創設・拡充する考えを表明した。この事実は3月定例会の請願で「奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める請願」として議員全員をもって採択された案件であります。

「子育て大国がみ町」を掲げる町として、幼児・児童だけでなく、自分の将来の夢と目標に向かって頑張ろうとする若者達に最上町の熱き想いを感じてもらいながら、大いに羽ばたいてもらいたいものです。

(橋本 正)

【発行責任者】

議長 菅 俊郎

【広報編集委員会】

委員長 二戸 守

副委員長 大沼正視

委員 佐澤 浩

橋本 正

尾形 勝雄

宮本 浩